

長岡安藝子 ながおか げいこ 歌人。明治二十六年七月二十四日廣島縣基町の旅團長官舎生れ、大正十年三月二十三日歿（九〇三―二）。長岡外史（ながわいし）百靈戦争時の大本營參謀次長、のち陸軍中將（の三女。小學時代を新潟、京都に過し、大正五年女子學藝院中學校入學。明治神宮前停留場で輪禍に遭ひ、翌日死亡。

豫（おね）こ姉朝吹磯子等と共に竹柏會に入り佐佐木信綱の節等。一方「啄木歌集」を愛讀してゐたといふ。日記等他の斷簡零瑩と共に、信綱選の

「安藝子の百首」を追悼集『妹安藝子』（大正十年九月十五日朝吹磯子・園田京子編輯）に附載。

